



「玉ノ井路地銘点街」(仮称)の可能性について  
NPO法人 向島学会理事長 高木新太郎

(1) 基本的な考え方

玉ノ井の歴史性、立地条件を重視。

「玉ノ井=遊郭(現在は消滅)」というイメージを払拭し、「玉ノ井=路地銘点街」として売り出す。住民の生活をベースとしながら、タワーの観光客等も呼び込む。

(cf:参照) まちに対する誤解や先入観、固定概念などを解く。

例えば、現実には墨田区の「安全・安心」度が高いにもかかわらず、イメージ的にはそうでもない等。「ダイヤモンド」誌(2007年8/11・18号)によれば、全国805市区の中で墨田区は10位。

(2) 玉ノ井の歴史等～代表的な本の紹介ほか～

(ア)『新編 武蔵風土記稿 東京都区部編』(全3巻、別巻)

千秋社、昭和57年5月発行、復刻版。徳川幕府が文政11(1828)年に完成

(イ)朝倉・植田編『明治東京名所図絵 下巻』東京堂、1993年9月発行、復刻版

(基となる『東京近郊名所図絵』(全5巻)は、明治43(1910)年6月発行

(ウ)花屋敷花頭陀菊塙編『墨水遊覧誌』文政11年発行

江戸叢書刊行会編「江戸叢書 巻乃1」昭和39(1964)年9月に復刻

(エ)矢掛弓雄『隅田川叢誌』明治25(1892)年12月発行

(オ)真泉光隆『年表 隅田川』日本図書刊行会、1992年12月発行

762年 下総国・井上(いのかみ)・浮島・河曲(かわわ)三駅…。馬十疋を置かんと...(続日本記)

858～862年頃 業平朝臣の東下り(墨田区史)

951年 寺島村に白鬚神社創建(伝承)

957～960年 天徳年間に隅田宿(工、オ)

1165年 下総国葛西御厨注文に、「隅田」「寺島」の地名(オ)

1248年 隅田村閨屋の御前裁(せんざい)畑から、都内最古の板碑が出土(正福寺に現存)

1594年 千住大橋の創架。三年後の1597年に千住が人馬の継場村 千住宿

1659年 両国橋の竣工。本所開発が活発化

1660年 葛西用水路の開削。本所への給水のため、曳舟川とリンク

1717年 隅田堤に桜の樹を植える

1733年 両国の川開き

1735年 前栽(野菜)は葛西が本場であり、「寺島茄子 葛西の内なり。…」(隅田区史 前史)

1804年 梅屋敷(のちの新梅屋敷で、現在の百花園)の開園

文化初年の頃 向島界隈の料理屋が人気(隅田区史 前史)

1880年 大蔵喜八郎が寺島村に別荘を建築

1887年 東京綿商社が、鐘ヶ淵に紡績工場(のちのカネボウ)を建設

1911年 荒川水流の直線化のための治水事業開始

1920年頃より 言問通りの道幅を広げるため(拡幅) 数件の銘酒屋が浅草から寺島に移転

(3) 全国の玉ノ井(玉井) - 将来のネットワーク

(4) 駅名改訂に伴う住民の反応

(5) 街のランドマーク

向島百花園、東武博物館を生かす。ただし、これだけでは「高齢者プラス子供」が中心となる。子供の親なども含めて、やや拡大し、ユートリア等も視野に入れる。

「滝田ゆう記念館」(玉ノ井資料館)の新設(ひとつの案)。歴史的視点からも重要ではないか。

(6) 路地の整備

百花園前の路地整備の例があるが、ポイントは生活と一体化していることで、路地園芸はその一つ。

玉ノ井は規模が大きい。寺島ナスを中心とする農園(小規模でも)を併設する。

「路地琴」を導入する。

路地整備に建物がどう関係するか。ヘタをすると「スラム」のイメージになりかねない? ので。

(7) 一店逸品の開発

品質向上はもとより、差別化のマーク(CI)を工夫する。逸品(委員会による決定)にはCIを付すが、CIとして「マルにイゲタ」はどうか。

具体例として、物品ではタマセン、タケチョコ等が考えられる。タマセンは「玉の井 栓抜き」で、竜安寺の「つくばい」にならったもの。タケチョコは「竹のお猪口」で、CIを焼印する。

食べ物なら「玉の井焼」「玉の井四季大福」「玉の井せんべい」等々。

差別化の工夫がポイントとなる。寺島ナスを使った商品、「隅田川焼」等の陶器なども良い。もとより、味・雰囲気(特に飲食店) 価格が基本になる。

(8) 交通ルート

交通手段:鉄道以外に、シャトルバス、集合タクシー、貸し自転車の新設。

シャトルバス&七福神バス(仮称)

(A)タワー～こでまり公園案内所(玉の井町会会館、これはノンストップ)～玉の井路地～長寿庭園～百花園案内所(東向島町会会館)～東向島駅～向島路地案内所(寺七西町会会館)～白鬚神社～長命寺～向島見番(または牛島神社)～タワー:(A)は一方ルート。

(B)タワー～向島見番～長命寺～白鬚神社～園徳寺～成林庵～多聞寺～東京未来大学～閨屋・牛田～海外技術者研修協会～東京芸術大学～北千住(B)は双方ルート。足立区と交渉できるか。案内所は町会会館(住民と町会近付ける)で、敬老会の人に手伝わってもらえないか。

料金は通常の半額が基本(タクシーも)

玉ノ井地区内は貸し自転車、案内所が行なう。

長期的課題として、駅の改名がある。

東武で3駅、京成で3駅(場合により2駅)の改名。複数駅の改名であれば鉄道会社も考慮しないか。

(9) その他

この構想は、2010年度中にある程度完成させたい(予定)

アンテナショップについて

第一部は学会会長の高木氏による「玉の井銘点街の可能性について」の提案です。東向島、玉ノ井周辺の商店街からもゲスト参加者を迎えて、地域の社会的活動を取り込んだ路地と商店街のマッチングを、熱く語っていただきました。どのような路地をイメージしていくのか、商店街の現状と担い手の問題、行政との関わり方など、さまざまな話題が議論されました。



東向島駅周辺商店街からの客人

